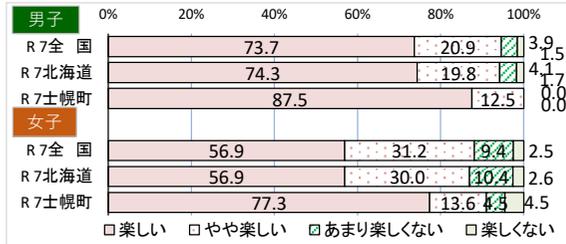


## ○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

### 小学校

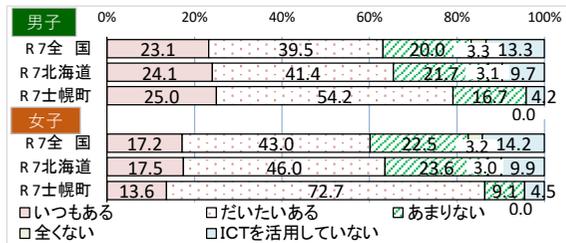
#### 【児童質問調査】

・体育の授業は楽しいですか



#### 【児童質問調査】

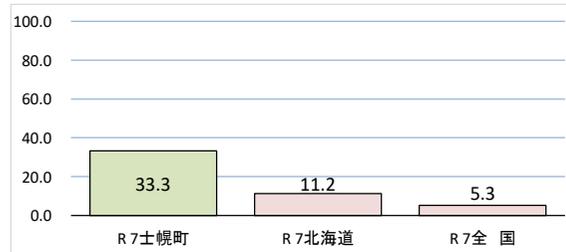
・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



#### 【学校質問調査】

### 小学校

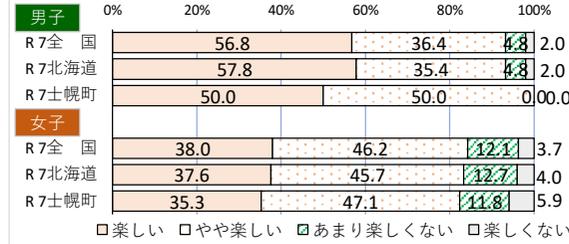
・体育授業において毎時間ICTを活用している。



### 中学校

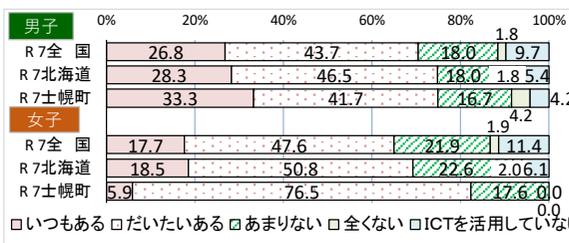
#### 【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しいですか



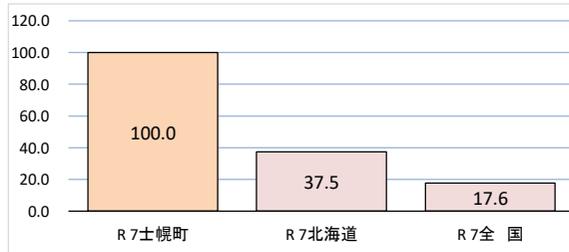
#### 【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



### 中学校

・保健体育授業において毎時間ICTを活用している。



## ■ 調査結果の分析

### 小学校

#### 【成果】

・小学校においては、体育授業において継続的にICTを活用しながら運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、「できたり、わかったり」することが増え、達成感や成就感を味わい、それに伴い運動に対する関心・意欲が高まり、「体育の授業が楽しい」と感じる児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

#### 【課題】

・全国及び全道と比較して、町全体のICTの活用頻度は高いものの学校間で差があるため、ICTの活用法についての情報連携・共有が必要である。また、自己課題設定や解決のための場の設定、交流場面や振り返りなど、思考・判断・表現の向上に向けたさらなる授業改善が課題である。

### 中学校

#### 【成果】

・中学校においては、保健体育授業において自己課題設定や振り返りの記録、動作確認などに毎時間タブレットや大型モニターを活用し、技能・知識の定着や思考・判断・表現を高める指導の工夫を行ったことにより、保健体育の授業でタブレットなどの「ICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがある」と肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

#### 【課題】

・ICTの活用が、保健体育授業に対する意欲を高めることに必ずしもリンクしていないことから、単元計画を立てる際、教材や学習過程、ICT機器や活用場面などを工夫し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実が図られるようにデザインしていくことが課題である。

## ■ 士幌町の体力向上に向けた改善方策

- ・新体力テストの全校全学年全種目実施による調査結果・分析を踏まえた体力向上や体育・保健体育授業の改善・充実
- ・ICTを効果的に活用した体育・保健体育授業の「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進
- ・町採用の小学校体育専科教員を配置し、3校巡回による体育の授業改善・充実、各校教員の授業力向上
- ・体力向上に向けた「1校1実践」の推進
- ・学校・家庭・地域が連携した運動機会と情報の提供による運動習慣・望ましい生活習慣の定着に向けた取組の推進